

ドロップ・サイト・デイリー、3月30日：イスラエルがレバノンでジャーナリスト3人を暗殺；イランの大学やエネルギー施設が標的となる；キューバへの石油禁輸措置が破られる

イラン戦争

*米・イスラエルのイラン攻撃は3月30日も続く：

・米・イスラエル軍は夜通しテヘランとイラン各地を爆撃、テヘランでは電力インフラを標的にした。イラン国営メディアによれば、タブリーズの石油化学工場が空爆で被害を受けた。
・プレスTVによれば、イスファハンで米・イスラエル軍の空爆で学生9人と教員1人が死亡した。
・30日朝、テヘラン、レイ、ゴム、バンドル・アッバス、キシユなど幾つかのイランの都市で爆発が報告された。ゴム州の高官は、市街地など州内4か所が米・イスラエル軍の砲弾を受けたことを確認した。

*トランプ大統領、またもやエネルギー・インフラ攻撃を示唆：トランプ大統領は30日、[Truth Social](#)で、はやく停戦合意が成立しなければ、イランのエネルギー・インフラ、油田、ハルグ島、海水淡水化施設を攻撃すると脅迫した。彼は、29日、フィナンシャル・タイムズ紙とのインタビューで、ハルグ島などイランの石油インフラの奪取を検討していると述べ、「私の望みは石油を奪うことだ」と言った。彼は、イランが停戦合意を受け入れるか、それともエネルギー・インフラ攻撃に直面するかの選択期限を4月6日とした。「攻撃標的はあと3000箇所ほど残っている。既に1万3000箇所を爆撃、あと数千か所残っている」とトランプはフィナンシャル・タイムズ紙に語った。「停戦合意はかなり早く成立するだろう」と言った。

*イラン、米国の停戦構想を拒否：イラン外務省のエスマイル・バガイ報道官は30日、イランは米国と直接交渉を行っていないことを改めて表明した。タスニム通信によると、バガイ報道官は、「間接的に我々に伝わってきたのは、15項目であろうがそれ以上であろうが、非常に過剰で非現実的で不合理なトランプ要求の羅列だ。イランは最初から明白な立場を表明している。イランは、我々に検討せよと強要している構想の狙いを十分理解している。我々に間接的に伝えられた構想は過剰で不合理なものばかりだ。パキスタンが行っている会合は、彼らが勝手に設定したもので、我々は参加していない」と述べた。[ドロップ・サイト](#)は27日に、イランと米国が仲介者を通じてそれぞれの戦争終結の条件を提示したと、内部事情に詳しいイラン高官の話として報じた。一方、ホワイトハウスのカロリン・リーヴィット報道官はドロップ・サイトへの声明文で、「これらは機密の外交協議で、米国は報道機関を通じて交渉する気はない」と述べ、「大統領と交渉担当者がこの新たな可能性を探る一方で、最高司令官と国防総省が定めた軍事目標を達成するために『エピック・フューリー作戦』を継続している」と付言した。

*米国、ウラン押収を検討：[ウォールストリート・ジャーナル紙](#)によると、トランプ大統領はイランから約1000ポンド（約450キロ）のウランを抜き出す軍事作戦を検討しているという。これは複雑な作戦で、数日間かかると言われる。「米軍部隊は、イランの地对空ミサイルやドローンの反撃の中を、現場へ向かう。現場に着いたら、直ぐに周囲を封鎖し、工兵が掘削装置で瓦礫を捜索し、地雷やブービートラップの有無を調べなければならない」と同紙が報じている

*週末、米・イスラエル軍のイラン攻撃：

・米・イスラエル軍のイラン西部のイラク国境近くの都市ケルマンシャーへの空爆で10棟以上の家が破壊された。
・イラン学生通信によると、イラン天然資源・流域管理機構の保護部隊司令官のマジッド・ザカリヤイが、28日の同機構への空爆で死亡し、その後死亡した。
・29日、テヘランのアッバス・アバド地区のサビウンチ通りの住宅ビルが空爆され、5人が死亡、数人が負傷した。
・イスファハン大学は29日2度目の空爆を受け、建物が損壊、職員4人が負傷したと発表した。前日にはテヘラン技術大学も空爆された。[イスラエル軍](#)はここ数日間テヘランのイマーム・フセイン大学を爆撃したことを認め、「大学の中で、民間人を装って、高度な戦闘兵器の研究・開発が行われていた」と、証拠を示すこともなく主張した。
・国際原子力機関（IAEA）は29日、27日にイランが攻撃を受けたと発表したアラク重水製造施設の被害は甚大で、「もはや稼働していない」と発表した。

*イランは報復として、地域内の米軍施設及び同盟国へ攻撃した：

・[クウェート電力・水資源省](#)は、29日のイランの飛翔体が発電・海水淡水化プラントのサービス棟を直撃し、インド人作業員が死亡、大きな物的損傷が生じたと発表した。タスニム通信によると、イラン軍はこの攻撃はイスラエルが行ってイランの攻撃にすり替えた偽旗作戦だと非難した。

・アル・ジャジーラが情報筋を引用して報道したところによると、29日、バグダッド空港複合施設の西にある米軍の兵站基地であるビクトリア基地が弾道ミサイルとドローンによる攻撃を受けた。イラク国防省は30日、バグダッド空港の隣にあるモハマト・アラー空軍基地もロケット弾攻撃を受け、航空機1機が破壊されたが、死傷者はゼロだったと発表した。

・[クウェート国防省](#)は29日、過去24時間に弾道ミサイル14発とドローン12機を探知し、そのうち数発が軍事基地に着弾し、10人が負傷して治療中だと発表した。さらに、他の攻撃で民間の物流倉庫が損傷した。

・クウェート民間航空局によると、28日、クウェート国際空港がドローン攻撃を受け、レーダー・システムが甚大な被害を受けた。

・28日、バーレーンも一連の**攻撃**を受け、国営エネルギー会社BAPCO関係の石油施設が攻撃されたという未確認情報がある。

***イランの攻撃、バーレーンとUAEのアルミニウム施設損傷**：世界最大級のアルミニウム生産会社のバーレーン・アルミニウム (ALBA)は28日、イランの攻撃で施設が被害を負い、従業員2人が軽傷を負ったと発表した。ALBAは年間約160万トンのアルミニウムを生産しており、これは世界の生産量の約1～1.5%に相当する。この会社はバーレーン経済の基盤で、グローバル・サプライ・チェーンの重要な拠点になっている。また、イランのミサイルとドローンの攻撃は、世界最大級のアルミニウム精錬所の一つであるアブダビのエミレーツ・グローバル・アルミニウム (EGM) のアッタウィーラ工場にも大きな被害を与えた。

***イラン、UAE国民の居住許可を取り消し**：イラン司法当局は、UAEがイラン国民のUAE居住許可を取り消したことへの報復として、イランで暮らしている1200人のUAE国民の居住許可を取り消すと発表した。UAEはまたドバイにあるイラン病院とイラン・クラブを閉鎖した。

***イスラエルのハイファの石油精製所が攻撃され、火災**：イスラエル・メディアによると、30日、ハイファの石油精製所が攻撃を受けた後、火災が発生した。この火災がミサイル攻撃の破片落下が原因かどうかは不明。この施設が攻撃されたのはこれで2回目。後にヒズボラが、ハイファの海軍基地を「最新ミサイルの一斉射撃」で攻撃したと発表した。

***イランの攻撃後、イスラエルの主要化学工業地帯で火災**：29日、イランの攻撃後、ベエル・シェヴァ南部のネオット・ホバブ工業地帯で火災が発生した。この工業地帯はイスラエルの主要化学工業地帯で、医薬品、臭素、農薬などを生産している。また、イスラエルの中央有害廃棄物処理施設も併設されている。

***カタールの米大学キャンパス閉鎖**：ドーハ・ニュースによると、米・イスラエル軍のイランの大学への爆撃への報復として湾岸地域の米国系教育機関を攻撃するかもしれないとイラン革命防衛隊が警告したことを受けて、カタールにキャンパスを持つノースウェスタン大学、ジョージタウン大学、カーネギー・メロン大学、テキサスA&M大学などの米大学は、29日から遠隔授業に切り替えた。

***アンサールッラー直接介入、イスラエルへ弾道ミサイル攻撃**：イエメンの[アンサールッラー](#)は28日、イスラエル南部の軍事拠点だと彼らが指摘する場所にミサイル攻撃したと発表した。これはイラン戦争においてフーシ派が初めて軍事介入したことになる。声明の中で彼らは、この作戦はイラン、レバノンのヒズボラ、イラクの抵抗勢力、そしてパレスチナを支援するものであると宣言した。彼らはイスラエルへの攻撃を再開すると表明したが、米国に関しては、米国がフーシ派を直接攻撃しない限り、米国との停戦は**維持**すると言った。彼らは28日と29日にイスラエルへ向けて、[第二波](#)と[第三波](#)の攻撃を行った。

***カタイブ・ヒズボラ¹、オマーンを攻撃**：カタイブ・ヒズボラは、「アラブ首長国連邦領から飛来した」ドローンを自分たちが発射したドローンとして、オマーンのサララ港へのドローン攻撃を行ったと犯行声明を出した。ドローン2機がサララ港を攻撃し外国人労働者1人が負傷し、国際的船舶会社マースク社の同港での操業が一時的に停止した。イランのア

¹ イラクのシーア派民兵組織。

ラグチ外相はバルザニとサララの両攻撃を非難し、イランは関与していないと表明した。外相は、イスラエルが紛争を拡大するために行った偽旗作戦かもしれないという疑惑を表明した。

***クルディスタン地域が爆撃される：**イラクのクルディスタン地域は、2月28日の米・イスラエルのイラン戦争開始以来最も激しい24時間を攻撃を受けた。イラクのクルディスタン地域のオンライン・ニュース・メディア『ルダウ』によると、28日朝から29日夜明けにかけて、ドローンとミサイルによる攻撃が36回もあった。そのうち27回はエルビル州とその周辺地域で、ドホークでドローンが8機、スライマニで1機が爆発した。『ニュー・リージョン』がまとめたデータによると、イラン戦争開始以来、クルディスタン地域は合計480回の攻撃を受け、14人が死亡、93人が負傷した。

***イランのサウジアラビア基地への攻撃で、米軍 AWACS 早期警戒管制機を破壊、給油航空機隊も被害か：**[新しい映像](#)で、イランのサウジアラビアのプリンス・スルタン空軍基地への攻撃でボーイング E-3 機が破壊されたことが確認された。機体が壊れ、焼け焦げていた。エア&スペース・フォース誌によると、米軍にはこの重要な偵察機は16機しか残っておらず、新しい機を入れるには10億ドル以上かかる。さらに、同基地に駐留する KC-135 ストラトタンカー空中給油機6機も攻撃され、3機が破壊、その他の損傷下との未確認情報もある。この機の価格は1機約8000万ドル。

***イラン、パキスタン船20隻のホルムズ海峡通過を追加承認：**パキスタンのイシャク・ダル外相は、パキスタン船籍20隻のホルムズ海峡通過を許可し、1日に2隻ずつ通過することに同意したと述べた。これに関し、トランプ大統領は29日夜、イランの許可は米国への「敬意」と「尊重」の証しだと述べた。しかし、イランの高官は、ドロップ・サイトに対し、パキスタン船通過許可はトランプ大統領や米国政府とはまったく無関係と述べ、イラン政府とパキスタン政府の間の二国間友好関係の一環で、戦争中も一部のパキスタン船のホルムズ海峡通過を許可されていたと語った。また、トランプ大統領は29日、イランの政権交代が達成されたと[宣言](#)した。「政権交代が実現したと思う。これ以上喜ばしいことはない」と述べ、イランとの交渉は「順調に進んでいる」と言った。

***エジプト、トルコ、サウジアラビア、ホルムズ海峡管理のためのコンソーシアム計画を提案：**ロイター通信によると、エジプト、トルコ、サウジアラビアはホルムズ海峡の石油輸送を管理するコンソーシアムの設立計画を米政府に提案した。これはホルムズ海峡の航行安定化に向けた広範な取り組みの一環である。この計画はパキスタンの会合で議論され、パキスタンもパートナーとして加わる予定で、計画は米国とイランの双方に提起されたと報じられている。

***米国の新型弾道ミサイルが、イランのスポーツ会館と学校を攻撃して21人を殺害した可能性濃厚：**[ニューヨークタイムズ紙](#)とBBCはそれぞれ別個の報道で、2月28日にイランのラメルドにあるスポーツ会館を攻撃した際に、新たに開発され、それまで使用したことがなかった米国製弾道ミサイルが使用された可能性が高いことを確認した。この初期攻撃では、施設で練習していた少女たちを含む少なくとも21人が死亡した。映像を見る限り、隣接するイラン革命防衛隊の施設は攻撃の被害を受けていないようだった。分析によると、使用されたのは精密攻撃ミサイル (PrSM) と呼ばれる短距離弾道ミサイルで、標的のすぐ上で爆発し、小さなタングステン弾があたり一面に飛散するように設計されている。この攻撃に関する目撃者や犠牲者の親の証言は Mahamoud Aslan, [“After a Sports Hall in Iran Was Bombed, Witnesses Describe Chaos and ‘Continuous Screaming’”](#), Drop Site, March 02, 2026) を読みたい。

***ペンタゴン、イランへの地上侵攻の準備：**[ワシントン・ポスト紙](#)が引用した米当局者によると、国防総省は数週間にわたるイランへの地上作戦計画を準備しており、特殊作戦部隊による襲撃、ホルムズ海峡付近の沿岸拠点を通常歩兵部隊による制圧作戦、ペルシャ湾のイランの主要石油輸出拠点のハルグ島占領など、様々な選択肢を検討している。いずれの作戦も本格的侵攻とせず、せいぜい数週間の作戦行動を見積もっている。しかし、マルコ・ルビオ国務長官は29日、米国は「地上部隊なしでも目標をすべて達成できる」と主張した。

レバノン

***死者数：**レバノン保健省によると、3月2日以降イスラエルのレバノン攻撃による死者は少なくとも1247人となり、負傷者は3680人となった。

***30日の空爆で少なくとも8人が死亡：**レバノン保健省によれば、30日、ラハブ地域で1人が死亡、17人が負傷した。犠牲者にはレバノン人とシリア人、子ども4人、ケニア人女性1人が含まれる。さらにビント・ジュベイルとその周辺

の町も爆撃され、さらに死傷者が増え、建物や商店がたくさん破壊された。マンスーリにある民間防衛センターへの空爆でレバノン兵1人が死亡、数人が負傷した。フナウエ、バラチット、シャクラへの空爆では、少なくとも6人が死亡、3人が負傷した。

***週末レバノン空爆が続く：**

- ・レバノン保健省によると、28日、南レバノンのティルス県のアル・ハニヤの町へのイスラエル軍の空爆で、少なくとも7人が死亡、9人が負傷した。犠牲者のうち6人はシリア人で、子ども1人が含まれる。
- ・28日、イスラエルはレバノン兵2人を殺害した。1人はデイル・アッザフラニの町のレバノン軍警察の伍長で、もう1人はナバティーエノクファル・ティブニットへの空爆で死亡したファデル・アユーブ兵卒であった。

***南レバノンでイスラエルの空爆でジャーナリスト3人が死亡：**[AP通信](#)によると、28日に空爆で南レバノンでジャーナリスト3人が死亡し、これで今年イスラエルの攻撃で死亡したメディア関係者は5人となった。ヒズボラ系のアル・マナールTV記者として30年近く南レバノンで取材活動をしてきたアリ・ショエイブ記者が空爆で死亡した。イスラエル軍はショエイブ記者をヒズボラの情報工作員だと嘘の主張をした。ジェジン地区への空爆では、アル・マヤディーンTVのファティマ・フトゥニ記者と、彼女の兄のビデオ・ジャーナリストのモハンメドが死亡した。アル・アラビーの特派員によると、フトゥニたちの車には明らかに報道関係者だと分かる機材が積んでいたのに数回攻撃された。フトゥニ記者は逃げようとしたけれど、イスラエル軍飛行機の標的にされて死亡し、彼女を助けようとした通行人2人も死亡したと報じられている。数日前には、ベイルートのアパートへのイスラエル軍の空爆で、アル・マナールTVの政治番組担当者のモハンメド・シーリーとその妻が死亡した。

***イスラエル軍の南レバノンへの空爆で救急隊員7人が死亡：**地元報道によると、28日、ザウタル・アル・ガルビエ道路上の救急車が空爆され、イスラム・リサラ・スカウト協会²の救急隊員7人が死亡した。救急隊コーディネーターによると、救急車は高齢男性の埋葬のために派遣されたという。スペインのクアトロTVのスペイン人記者は攻撃現場に駆け付けると、仲間の手当で血まみれになった隊員たちを見た。「彼らはまだ現場にいた。これが自分たちの仕事だからここから離れないと言っている」。この攻撃は、医療従事者に対するイスラエルの広範な攻撃パターンの一部である。28日には他に5件の攻撃で合計少なくとも9人の救急隊員が死亡し、[28日](#)と[29日](#)には、さらに2件の医療従事者に対する致命的な攻撃が報告された。WHO（世界保健機構）は、3月2日始まった戦争でこれまでに少なくとも53人の医療従事者が死亡したと推定している。

***レバノン侵攻開始後6人目イスラエル兵死亡：**イスラエル国防軍によると、南レバノンで、第401機甲旅団第9大隊の戦車がヒズボラの対戦車用ミサイルで攻撃され、リラン・ベン・ジオン軍曹が死亡し、将校1人が重傷を負った。これで、イスラエル軍レバノン侵攻中で死亡したイスラエル兵は6人となった。

***イスラエル軍、シリア経由で南レバノンへ越境攻撃：**[イスラエル・メディア](#)によれば、29日イスラエル軍はヘルモン山のシリア側から南レバノンへ越境侵攻した。この作戦を行ったのは、イスラエル国防軍第810山岳旅団の登山部隊で、シリア領内からドブ山地帯へ入り、ヒズボラのインフラと武器密輸ルートを攻撃したと報じられている。

***南レバノンで国連平和維持軍3人が死亡：**国連レバノン暫定軍（UNFIL）の発表によると、29日南レバノンのアドチット・アル・クサイル近郊の国連軍陣地に砲弾が飛んできて爆発、インドネシア人兵士1人が死亡し、1人が重傷を負った。砲弾の出所は不明で、現在調査中。[UNFIL](#)は、平和維持軍への攻撃は戦争犯罪になる可能性があり、紛争関係者すべてに平和維持軍要員の安全を確保することを求めた。UNFILはアル・アラビーTVを通じての声明で、30日にタロウサとバニ・ハヤンでインドネシア人UNFIL部隊が砲弾攻撃され、さらに平和維持要員2人が死亡し、2人が負傷したと発表した。

***ネタニヤフ首相、南レバノン侵攻拡大を命令、部隊はリタニ川へ：**ネタニヤフ首相は29日、南レバノン侵攻を拡大するように軍に[指示](#)したと発表した。彼は、いわゆる「ガザ・モデル」の南レバノン占領を実現するとして、既存の緩衝地帯を拡大するようにと軍に指示したと言った。イスラエル軍は南レバノンの複数の地域へ侵攻し、リタニ川に向い、一部の

² 政党で民兵組織のアマル運動傘下の救急サービス隊。

部隊はアル・ムハシバト近郊の東部の町カンタラの南の支流 — リタニ川本流からわずか数百メートルのところまで迫っている。

ガザ・ジェノサイド、西岸地区、イスラエル

***死傷者数：**過去24時間に、前のイスラエル軍の攻撃で負った傷が原因でパレスチナ人2人が死亡し、1人がイスラエル軍の攻撃で新たに負傷した。2023年10月17日以降のジェノサイド犠牲者は、死者72,280人、負傷者172,014人となった。ガザのパレスチナ保健省によると、いわゆる停戦初日である20月11日以降のイスラエルの停戦違反の攻撃で、704人のパレスチナ人が死亡し、1,914人が負傷した。また、瓦礫の下から回収した遺体は756体。

***イスラエル占領軍、西岸地区でパレスチナ人3人を殺害：**イスラエル占領軍は27日、西岸地区で2つの難民キャンプでパレスチナ人3人を殺害した。パレスチナ保健省によると、カランディア難民キャンプでは、前にイスラエル軍に殺害されたムスタファ・ハマド(22)の葬儀の後の墓地へ彼をお参りしていた人々を銃撃し、スフィアン・アハメド・アブ・レイル(46)を射殺した。数時間後、イスラエル軍はベツレヘム近郊のディシェ難民キャンプを襲撃して15歳の少年を殺害した。イスラエル軍は、投石など「暴力的騒乱」があったと主張し、「主な扇動者」に対して実弾発射を行ったと言った。

***イスラエルの攻撃でガザでパレスチナ人3人が死亡：**Wafa 通信によると、28日、ガザ回廊でイスラエル軍の攻撃が2件あり、パレスチナ人3人が死亡した。ガザ回廊南部では、ハーン・ユーニス市東部で車両への空爆で、1人が死亡した。その前には、ガザ市で兄弟2人が射殺され、他に数人が負傷を負ったが、そのうち何人かは重傷である。

***ガザ検問所でイスラエル軍の砲撃で警官が死亡：**地元報道によると、28日、ガザ回廊南部のハーン・ユーニス市南部の警察検問所をイスラエル軍が砲撃し、警官3人が死亡し、数人が負傷した。

***イスラエル、マルワン・バルグーチへの弁護士接見を阻止：**パレスチナ人政治犯マルワン・バルグーチへの面会は、バルグーチの身柄を北部のメギド刑務所から南部のガノット刑務所への移送を理由に面会を阻止されたと、弁護士のベン・マルマレツリが述べた。弁護士はこの移送を「恣意的な権力行使」と非難し、移送のため複雑で長い時間かかる面会手続きを最初からやり直しせざるを得なくなったと言った。

***イスラエル、パームサンデー³にカトリック総大司教の聖墳墓教会への立ち入りを阻止：**イスラエル警察は、エルサレム・ラテン大司教のピエルバッティスタ・ピッツァバラ枢機卿とフランチェスコ・イエ神父がパームサンデーのミサを執り行うために聖墳墓教会へ入るのを阻止した。キリスト教聖地でミサが行われなかったのは数世紀ぶりである。総主教庁はこの事件を「重大な前例になる」と非難し、国際社会からも即座に非難の声が上がった。駐イスラエル大使のマイク・ハッカビーも、聖墳墓教会へ入ることの拒否は「理解できないし、正当化もできない」と述べた。

米国ニュース

***トランプ政策とイラン戦争に反対する「ノー・キングズ」デモが全米各地で数百万人参加で展開：**28日、全米で数千もの集会・デモが開かれ、数百万人が参加した。これで3回目となる全国的「ノー・キングズ」デモで、参加者はイラン戦争、大量強制送還、ガソリン価格高騰、投票制限、生活費高騰に反対し抗議した。主催者発表では、全米50州、プエルトリコ、海外39箇所で800万人が参加した。ロイター/イプソスが24日に発表した世論調査によると、トランプ大統領の支持率は36%に低下し、イラン戦争支持は35%であった。

***ライアン・グリム(ドロップ・サイト記者)の最新ニュース：**アダム・ハマウィとサイカット・チャクラバルティが「ジャスティス・デモクラッツ」⁴の支持を受けて下院選に弾みをつけた。ジャスティス・デモクラッツは30日、2人の新人候補への支持を表明した。両候補はそれぞれ独自の理由で、もし議会入りできれば大きな力を発揮する可能性がある。サイカット・チャクラバルティは、ジャスティス・デモクラッツの共同創設者であり、アレクサンドリア・オカシオ・

³ 復活したイエス・キリストがロバに乗ってエルサレムに入城したとされる日。

⁴ サンダースら進歩派議員が2017年に立ち上げた進歩的政治行動委員会、そのコアス(党員集会)。

コルテスの元主席補佐官であった。彼は、彼の強硬な進歩的姿勢に反発したナンシー・ペロシ下院議長からワシントンから追放されたが、今ペロシの後任を目指して立候補している。アダム・ハマウィは陸軍退役軍人で外科医で、従軍医師としてイラクへ派遣され、またガザ回廊への派遣医師団の一員として活動した人物で、引退するボニー・ワトソン・コールマン下院議員の後任して、空席になる議席に立候補した。この件に関するライアン・グリムによる詳しい記事は[こちら](#)から読める。

***ICE(移民関税捜査局)の拘留施設における死亡者数が最多を記録：**トランプが大統領に就任してから、連邦移民拘留施設で46人が死亡した。[ニューヨークタイムズ紙](#)によると、今年最初の3か月間だけで13人が死亡しており、これは国土安全保障省が2003年に活動を開始してから、年間死亡者数として過去最高である。ICE 拘留者の数が14か月で倍増するという状況の中で死亡者増が発生している。

***パレスチナ人活動家の家を火炎瓶攻撃しようとした男が逮捕された：**ニューヨーク市警の潜入捜査で、ニュージャージー州ホーボーケン在住のアレクサンダー・ハイフラー(26)が著名なパレスチナ人活動家でニューヨーク市の親パレスチナ・反シオニズム運動「ウィズイン・アワ・ライフタイム」(生きている間に)の共同設立者のネルディーン・キスワニのブルックリンの自宅を火炎瓶へ襲撃しようとしていることが発覚し、連邦当局が26日に容疑者を逮捕した。[AP 通信](#)によると、ハイフラーは、2024年にユダヤ人防衛同盟に(JDL)に触発されて設立されたニュージャージー州の「JDL 613兄弟」のメンバーと特定された。彼は、8個の火炎瓶を作っているときに逮捕された。襲撃後はイスラエルへ逃亡する計画であった。

***下院、ハイチ人一時保護資格に関する法案を強行採決：**ハイチ移民の一時保護資格を回復させる、委員会を飛ばして下院本会議で採決を求める請願は、27日に必要な218人の署名を集めた。アヤナ・プレスリー下院議員(マサチューセッツ州民主党)が提出したこの請願書は、マリア・エルビラ・サラザール下院議員(フロリダ州共和党)、ブライアン・フィッツパトリック上院議員(ペンシルベニア州共和党)、マイク・ローラー上院議員(ニューヨーク州共和党)、ドン・ベーコン上院議員(ネブラスカ州共和党)の4人の共和党議員からの支持を得た。この決議によって、国土安全保障省はハイチを2029年1月20日まで一時保護資格国と指定しなければならず、これによって約35万人のハイチ人を強制送還から保護することになる。トランプ政権はハイチの一時保護国指定を取り消そうとしたが、連邦判事が先月、それを差し止めた。この訴訟は現在最高裁に持ち込まれており、最高裁はハイチの件と、もう一つシリアの一時保護国指定に関する同じような訴訟の両方を審理することに同意している。

***ボディ・カメラ映像、19歳の移民男性に対する暴力的逮捕を映しており、その後男性はICE 拘留施設で死亡：**[マイアミ・ニュー・タイムズ](#)が入手したボディ・カメラ映像には、1月21日に逮捕された19歳のメキシコ人先住民男性のロイヤー・ペレス・ヒメネスへの乱暴な扱いが映っている。ペレス・ヒメネスはその後、フロリダ州グレイズ郡拘留所で死亡、ICEは「自殺と思われる」とした。映像では、デイトナ海岸付近で、ペレスが横断歩道以外の場所で道路を横断したとして警官に呼び止められたが停止しなかったため、警官がタックルして彼を倒し、地面に押さえつけ、背中を膝で抑えて手錠をかける様子が映っていた。ペレスは苦痛の叫び声をあげた。ペレスは先住民マヤ語族のツォツィル語話者なので、最初は警察官と意思疎通ができなかった。逮捕後彼はICE 拘留施設へ送られ、そこで先週死亡した。

その他の国際ニュース

***パキスタン、アフガニスタンの都市を砲撃、戦闘再開で民間人死亡：**アフガニスタン政府副報道官ハムドゥラ・フィトラットは、29日パキスタン軍がクナル州の州都アサダバード郊外を砲撃し、1人が死亡し、16人が負傷したと[発表](#)した。副報道官は、負傷者のほとんどは女性と子どもで、さらにパキスタン軍は迫撃砲や重火器で農村や民家を攻撃したと非難した。パキスタンはこの非難に反応していない。この攻撃は、サウジアラビア、トルコ、カタールの仲介によるイード・アル・フィトル(断食明けの祝祭)の一時的停戦が今週初めに期限が切れ、25日に戦闘が再燃した後に発生した。この紛争は、2月下旬に国境を超えた衝突や武装勢力の攻撃が続いた後に始まった。パキスタンはアフガニスタン政府がパキスタン・タリバンを支援しているとして、アフガニスタンとの「全面戦争」を宣言している。アフガニスタンはパキスタンの主張を否定している。

***ロシアのタンカーが封鎖緩和を狙ってキューバへ石油を輸送：**ニューヨークタイムズ紙が引用した米当局者によると、約73万バレルの原油を積んだロシアのタンカーがキューバに到着する見込みで、数か月に及ぶ封鎖が緩和することになる。タンカーは31日までにキューバのマタンサス港に到着する予定だ。米国沿岸警備隊の船舶がタンカーを阻止しなかったのは、米国領海付近でロシアとの直接対決を避けたのだ。[トランプ大統領](#)は29日、「誰かが船で石油を郵送しても構わない。彼らは生き延びなければならないのだから」と述べ、「もしある国がキューバに石油を送りたいのであれば、私の方には何の問題もない」と言った。

***キルクークの人民動員部隊 (PMF) 基地とドホークにクルド人指導者の邸宅に空爆：**アル・ジャジーラが引用したPMFの声明の報道によると、28日、キルクークの人民動員部隊の基地が空爆され、少なくとも3人の戦闘員が死亡し、7人が負傷した。PMFは、北部と東ティグリスの作戦司令部がそれぞれ3回の空爆を受けたと発表した。米軍とイスラエル軍はここ数週間イラク政府傘下の準軍事組織のPMFを繰り返し攻撃し、戦闘員数十人を殺害した。イラク内務省は、意図的な二重攻撃だと非難した。28日には米・イスラエル軍がイラクのモスルを空爆、イラクの警官2人が死亡し、5人が負傷した。

***スーダン民兵組織、コルドファン州を攻撃し、子ども5人を含む14人を殺害：**スーダン医師ネットワークによると、即応支援部隊 (RSF) と、同盟関係にあるスーダン人民解放運動北部 (SPLM-N) の戦闘員は28日、南コルドファン州の州都ディリングで大規模な攻撃を行い、子ども5人と女性2人を含む少なくとも14人を[殺害](#)し、少なくとも23人を負傷させた。医師ネットワークはRSF部隊が数時間にわたる攻撃で住宅地を砲撃したと述べた。スーダン軍は攻撃を撃退したと発表した。

***スーダン軍、青ナイル州でRSFの攻撃を撃退と主張：**スーダン軍は29日、青ナイル州のアル・カイリ地区で、RSFとSPLM-Nの合同攻撃を撃退したと[発表](#)した。この戦闘で反政府勢力戦闘員94人を殺害し、車両4台を破壊し、数人を捕虜にしたと、軍は主張している。

***ロシアとウクライナ攻撃の応酬で、交渉は進展せず：**ロシア軍は28日未明、オデッサとクリヴィー・リフを[攻撃](#)、少なくとも4人が死亡、10人以上が負傷した。また、ロシアのドローンが28日、ポルタヴァ州にあるナフトガス・ウクライナ社のガス生産施設3か所を攻撃し、1人が死亡した。ロシア軍の滑空爆弾がウクライナ東部のクラマトルスクを攻撃し、13歳の少年を含む3人が死亡し、13人が負傷した。ロイター通信によると、ロシア軍の攻撃は近隣のオクレシェヴォ・ドルジキフカと北部のスロビャンスク市にも及んだ。

***ウクライナのドローンがロシアの港湾都市を攻撃：**地元当局によると、ウクライナのドローンが29日、ロシア南部の港湾都市タガンログを攻撃、1人が[死亡](#)、8人が負傷、住宅地、公共施設、工業地帯で火災が発生した。タガンログ市のスヴェトラーナ・カンブロワ市長は、市内全域で広範囲に被害が出ていると述べた。

***ウクライナがアラブ諸国と防衛協定を結ぶ：**ウクライナのゼレンスキー大統領は30日、防衛協力と経済協力の拡大を目的にした長期防衛協定を、サウジアラビア、アラブ首長国連邦、カタール、ヨルダンと締結したと発表した。ゼレンスキーは湾岸諸国の弾道ミサイル迎撃能力とエネルギーに関心があり、それらの提供と引き換えにドローンに関する専門知識と技術を提供すると言った。

***スペイン、イラン攻撃に関与する米軍機のスペイン領空通過を禁止：**スペインのマルガリータ・ロブレス国防相は30日、イラン攻撃に関与する米軍機の領空内通過を禁止したと発表した。これは、スペイン国内の米軍との共同基地をイラン攻撃に使わせないというこれまでスペインが実施してきた政策の延長である。

***エクアドル、選挙を前倒し：**エクアドル国家選挙管理委員会は、2027年の地方選挙を2027年2月から2026年11月へと早めた。批評家はこれを[政治的動機](#)によるもので、国内の電力危機が悪化する前に選挙をしようとしていると評している。法律関係者から違憲だと非難されているこの選挙時期変更は、「エルニーニョ現象」の影響を回避するためだと、選挙管理委員会は主張している。この決定は、選挙裁判所が最大野党の活動を一時的に禁止するという判決を下した後に行われた。